



## ミニかわら版

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

〒124-0012

東京都葛飾区立石 1-12-11 ヤマダビル

TEL : 03-3694-6091 FAX : 03-3691-6680

### 80代前半で約5割、80代後半で約3割が現役ドライバー

日本能率協会総合研究所が、60～90歳の高齢者を対象として調査した過去の自主企画調査の中から抜粋した「高齢者の自動車運転状況に関する調査」結果（有効回答数2500人）によりますと、男性高齢者の運転率は70代前半まで8割を超え、その後は加齢とともに低下しています。80代前半で51.1%、80代後半でも28.4%が現役ドライバーです。女性は男性より低いものの、70代後半でも運転率は31.6%となっています。

居住地域で比較すると都市部居住者よりも都市近郊・郊外居住者のほうが、運転率が高く、その背景には、自動車の代替となる交通手段の有無（充実度）が影響しているとみられます。また、現在、運転している高齢者のうち「運転していてヒヤリとしたり、怖いと思うことが増えた」と答えた人は60～70代で2割未満ですが、この割合は高齢になるほど高まり、80代前半で27.5%、80代後半で38.5%に達しています。

運転免許返納の検討状況は、「運転免許証の返納を考える様になった」の回答率は70代前半では7.2%と低く、70代後半になると16.0%、80代前半では26.4%に上昇しています。ちなみに、現在運転する人は、70代前半では62.1%いますが、うち「運転免許証の返納を考える様になった」は7.2%、70代後半では46.7%おり、同16.0%、80代前半では28.9%おり、同26.4%、80代後半では12.1%おり、同46.2%となっています。

運転中に感じる不安と免許返納の関係性をみると、「アクセルとブレーキの踏み間違いが不安」と回答した人は免許返納を考える傾向が高いことが分かりました。ただし、それでも返納意向は26.4%にとどまり、残りの73.6%の人は免許返納を考えていないことが示唆されています。「運転していてヒヤリとしたり、怖いと思うことが増えた」人の返納意向は16.0%、「歩行者や標識、信号の見落としが不安」な人は同16.3%となっています。

\* 詳細はこちらからご確認いただけます。

高齢者の自動車運転事情についての調査結果報告について

(株式会社 日本能率協会総合研究所 2019年6月20日)

[https://www.jmar.biz/news\\_and\\_column/](https://www.jmar.biz/news_and_column/)